

大阪医療センターをご利用くださる先生方へ

# Osaka National Hospital

# News



独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターニュース

No. 78

令和5年1月

このニュースは、年4回、  
大阪医療センターの最新情報をお届けいたします。  
詳しいお問い合わせは  
地域医療連携室までお寄せください。



## 目次

### 地域医療連携室より

- ・ 新任及び退職医師のお知らせ ..... 2
- ・ 講演会のご案内 ..... 2

### 病院のトピックス

- ・ 上部消化管診療グループの紹介 ..... 3
- ・ 緩和ケア研修 ..... 5
- ・ 消防訓練を実施して ..... 7
- ・ 入院食紹介 ..... 9
- ・ 脳卒中・循環器疾患におけるホットラインのご案内 ..... 10
- ・ NHO NEW WAVEについて ..... 10
- ・ がん相談支援センターのご案内 ..... 11

独立行政法人 国立病院機構 **大阪医療センター**

**地域医療連携室** 令和5年1月発行 78号

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

TEL.06-6946-3516

☎ 0120-694-635

FAX.06-6946-3517

[HP] <https://osaka.hosp.go.jp>

[E-mail] [408-comonh@mail.hosp.go.jp](mailto:408-comonh@mail.hosp.go.jp)

## ～ 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの理念～

私たち、独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの職員は、

- 1、医療に係わるあらゆる人々の人権を尊重します。
- 2、透明性と質の高い医療を、分け隔て無く情熱をもって提供します。
- 3、医学の発展に貢献するとともに良き医療人の育成に努めます。
- 4、常に向上心をもって職務に専念し、健全な病院運営に寄与します。

## ～理念に基づいた病院の基本方針～

—— 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センターの診療・研究・教育方針 ——

### 1) 政策医療の推進

- ・ 基幹医療施設としての「がん」「心・大血管疾患」「脳卒中」「糖尿病」等、高度総合医療の実施
- ・ HIV/AIDS先端医療の推進（近畿ブロック拠点病院）
- ・ 3次救急医療と災害医療の推進（西日本災害医療センター）
- ・ 専門医療と総合診療の充実
- ・ 医療機関の機能分担の推進と地域医療への貢献（地域医療支援病院）



- 正しく
- 品よく
- 心をこめて

### 2) 高度先進医療への貢献

- ・ 技術開発：先進的医療の基盤となる技術の研究開発とその臨床応用の確立
- ・ 臨床研究：病因の解明、診療治療法の開発等の臨床並びにその基礎となる研究の実施
- ・ 臨床試験の推進：治験を含む臨床試験の円滑な実施とその管理・支援

### 3) レベルの高い医療人を育成

- ・ 卒前教育：医療系教育施設と連携した教育活動と実習生の受入
- ・ 卒後研修：初期臨床研修医及び後期臨床研修医（専修医）等、卒後の医療技術者の育成
- ・ 専門職の育成

### 4) 情報開示と情報発信

- ・ 透明性を保った情報の開示・発信

## 新任及び退職医師のお知らせ

### 新任医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R5.1.1	医師（心外）	白崎 幸枝	採用

### 退職医師

異動年月	職名	氏名	異動内容
R4.12.31	専修医（皮膚科）	藤本 雷	退職
R4.12.31	専修医（消化器内科）	高橋 実佑	退職
R4.12.31	専攻医（心外）	白崎 幸枝	退職

## 講演会のご案内

開催日時	件名	内容	対象者
令和5年3月11日（土）	第57回法円坂地域フォーラム	講演担当科：整形外科	医師及び医療従事者 ※開催場所： 大阪医療センター 災害医療棟3階講堂 ○WEB開催も検討中
令和5年3月25日（土）	おおさか健康セミナー	講演担当科：肝胆膵外科・消化器内科	医師及び医療従事者 ※開催場所： 大阪医療センター 災害医療棟3階講堂

**開催場所** 大阪医療センター 緊急災害医療棟3階講堂 **アクセス** 地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅①号出口すぐ

**問合せ** 地域医療連携室（電話：06-6946-3516）

# 上部消化管診療グループの紹介

メンバー

副院長  
三田

副院長  
平尾

外科  
浜川

消化器内科  
山本 田中



消化器内科  
榊原

消化器内科  
阪森

外科  
竹野

消化器内科  
長谷川

消化器内科 HP



上部消化管外科 HP



平素は当院に大事な患者さんをご紹介いただきましてまことにありがとうございます。  
当院では消化器内科と消化器外科の垣根を越えた強い連携をベースにあらゆる上部消化管疾患の診断、治療に対応しています。内視鏡室ではモニターやリカバリールームを完備し、最新の内視鏡機器を用いて鎮静を併用した安全で苦痛の少ない検査を行っております。

食道癌、胃癌など悪性疾患は全ての症例について毎週の内科外科合同カンファレンスで診断、治療について詳細に検討しています。当院では切除、化学療法/免疫療法、放射線治療の全てを網羅しているため、それぞれの患者さんに最適な治療方法を選択しています。

治療に関して、内科領域では、最新の内視鏡機器や手法を用い、病変を早期に発見し、早期診断・早期治療につながるよう努めています。また、転移のない早期癌に対する ESD などの内視鏡治療を安全に施行しています。消化器内視鏡専門医 8 名や消化器病専門医 9 名が常駐しておりますのでいつでも対応可能です。

外科領域においては、近年腹腔鏡手術を含めたいわゆる低侵襲手術が標準的になりつつあります。当院では、内視鏡外科技術認定医 2 名、食道外科専門医 2 名が常勤しているため、食道癌手術のような専門性が高い高難度手術を安全に提供することができます。

昨年度からは胃癌、食道癌に対するロボット支援下手術を開始しており良好な治療経過が得られています。近年では併存疾患を有した高齢患者さんが治療を受けられることも多いですが、当院では多くの診療科を有する総合病院の強みとして、他院では治療困難な患

者さんにも対応できると考えております。悪性腫瘍だけでなく食道裂孔ヘルニアやなど良性疾患に対する外科治療も以前から積極的におこなっておりましたが、今年からは高度肥満を有する2型糖尿病患者さんに対する腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を開始しております。

進行癌の患者さんには全身化学療法が必要になることも多くあります。当院では多くの多施設共同臨床研究に参加しており、最新の科学的知見、ガイドラインに基づいた治療をおこなっています。さらに、企業治験の依頼も多いため、未だ保険未承認の最新治療をうけていただける可能性があります。

最後に、緊急入院が必要な症例などにも迅速に対応して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。



消化管内視鏡診断・治療を専門にしております。丁寧で分かりやすい説明を心がけております。

英語での診療も可能です。 山本



消化器内科一同、最新のエビデンスを取り入れつつ、患者様にとって最適な治療を受けていただけるように努力いたしますので、是非、当科にご紹介の程をよろしくお願いたします。抗癌剤治療も治験を含め多数実施しております。 長谷川



肝臓専門医として、門脈圧亢進症に伴う食道・胃静脈瘤治療を積極的に行っております。肝硬変の患者様がおられましたらご紹介いただけますと幸いです。 田中



2022年9月より赴任しています。内視鏡診断や治療を必要とする患者様を広く受け入れていき、多くの患者様に満足いただけるよう努めてまいります。 阪森



小腸内視鏡検査も積極的に行っておりますので、適応の患者様がいらっしゃいましたら、ご紹介いただけますよう宜しくお願いいたします。 榊原



食道癌、胃癌に対する低侵襲（鏡視下）手術に力をいれて取り組んでいます。また2022年からは高度肥満の患者さんに対する減量代謝改善手術を開始しています。地域の先生方から信頼をいただき、顔の見える連携ができるように取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いたします。 竹野



上部消化管の手術・化学療法を担当しており、特に内視鏡外科手術を得意としています。個々の患者さんに最適な治療を行います。さらに、栄養サポートチーム（NST）リーダーも務めておりますので、外科手術既往のある患者さんの栄養管理でお困りの場合もご相談下さい。 浜川

# 緩和ケア研修

大阪医療センターでは、年に1回緩和ケア研修を実施しております。  
昨年度は10月15日（土）に開催し、約40名の方に参加していただきました。  
毎年研修を開催しておりますが、応募者が多く先着順ですぐに枠が埋まってしまうのが現状です。すでに今年度の当院研修開催日も決まっておりますが、地域の先生方全員に参加していただくには難しい状況となっております。そこで今年度の大阪府の緩和ケア研修開催予定日程<sup>1</sup>をお知らせいたしますとともに、研修終了後の当院研修医の感想も併せて掲載いたします。

## 今年度の大阪医療センターの緩和ケア研修開催予定

2023年10月22日（土）終日

お日にち近づきましたらお知らせさせていただきます！

緩和ケア研修を修了することで「緩和ケア診療加算」の算定が可能となります。  
ぜひ次ページの開催予定表をご覧ください！

## 緩和ケア研修を受けて

研修医1年目 岡 晃平

今回の研修会では、研修医だけでなく科長・部長の医師、看護師、薬剤師、他病院の研修医が参加していました。グループワークでは、各々の経験を踏まえた意見も多く飛び交い、医師1年目の身としては学びの多い場となりました。

また、医師・患者・観察者に分かれて、がんの告知を行うロールプレイを研修医2人と経験豊富な医師1名の3人チームで行いました。経験豊富な医師に参加していただいたおかげで、経験に基づくアドバイスを受けることができ、適度な緊張感のあるロールプレイを行うことができました。特に、実際の診療にてどのようにがんの告知を行っているのか、それに対して患者さんがどのように反応されるかなどを教えていただき大変勉強になりました。

<sup>1</sup> [大阪府／緩和ケア \(osaka.lg.jp\)](https://www.osaka.lg.jp) 大阪府 HP より引用（次ページ）

# がん等の診療に携わる医師等に対する



# 大阪府内の緩和ケア研修会の御案内

「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」(平成30年7月31日付け健発0731第1号厚生労働省健康局長通知)にて、がん診療連携拠点病院は、「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成29年12月1日付け健発1201第2号厚生労働省健康局長通知)に準拠し、当該医療圏において、がん診療に携わる医師等を対象とした緩和ケアに関する研修を開催し、自施設に所属する臨床研修医及び1年以上自施設に所属するがん診療に携わる医師・歯科医師等が当該研修を修了する体制を整備すること、また、連携する医療施設におけるがん診療に携わる医師に対して緩和ケアに関する研修の受講勧奨を行うこと等があげられています。大阪府内でもがん診療連携拠点病院を中心に「緩和ケア研修会」が下記のように開催されます。  
※終日の研修になります。募集期間は概ね開催予定日の2、3か月前から1か月前迄となります。詳しくは各医療機関にお問い合わせください。

注)今後の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染状況により、開催時期及び形態について、変更・中止等の対応策が生じる可能性があります。こちらは個別の施設で判断されますので、ご確認のほど、お願いいたします。

開催予定日	主催病院	問合せ先
[2022年] 11月5日(土)	石切生喜病院 (多職種)	地域医療連携室 電話:072-988-3284(直通) FAX:072-988-3624(専用)
11月5日(土)	大阪大学医学部附属病院 (多職種)	医事課医事係 電話:06-6879-5227(直通) FAX:06-6879-5207
11月12日(土)	国家公務員共済組合連合会 大手前病院 (多職種)	地域医療連携センター 電話:06-6941-0484(PHS 8015) FAX:06-6966-5336
11月19日(土)	堺市立総合医療センター (多職種)	総務課 電話:072-289-7031(直通) FAX:072-272-9911
12月3日(土)	大阪府済生会吹田病院 (多職種)	がん診療推進課 電話:06-6382-1521(内線7049) FAX:06-6382-2498
12月10日(土)	大阪公立大学医学部附属病院 (医師のみ)	庶務課庶務担当 電話:06-6645-2711(直通) FAX:06-6632-7114
12月11日(日)	市立豊中病院 (多職種)	がん相談支援センター 電話:06-6843-0101(内線3126) FAX:06-6858-3602
12月17日(土)	箕面市立病院 (医師のみ)	病院人事室 電話:072-728-8232 FAX:072-728-8232
[2023年] 1月21日(土)	医療法人春秋会 城山病院 (多職種)	がん相談支援室 電話:072-958-1000 FAX:072-958-8814
1月29日(日)	地方独立行政法人りんくう総合医療センター (多職種)	医療マネジメント課 医事係 電話:072-469-3111 FAX:072-469-7838
2月18日(土)	多根総合病院 (多職種)	事務局 電話:06-6581-1071 FAX:06-6585-2160
2月19日(日)	北摂総合病院 (医師のみ)	事務局 医療秘書係 電話:072-696-2121 FAX:072-690-3061
2月23日(祝)	関西医科大学総合医療センター (多職種)	地域医療連携部 電話:06-6993-9444(直通) FAX:06-6993-9488
2月25日(土)	日本生命病院 (多職種)	医事課 電話:06-6443-3446(内線8292) FAX:06-6443-3557
3月4日(土)	市立岸和田市民病院 (多職種)	事務局医療マネジメント課 電話:072-445-1000(内線3320) FAX:072-441-8820
5月20日(土)	耳原総合病院 (多職種)	がん相談支援センター 電話:072-241-0501 FAX:072-241-0208
5月27日(土)	大阪府済生会中津病院 (多職種)	がん診療支援センター 電話:06-6105-1343(直通) FAX:06-6105-1344
5月28日(日)	大阪府済生会泉尾病院 (多職種)	経営企画室 電話:06-6552-0091(内線7023) FAX:06-6553-8512
6月3日(土)	大阪市立総合医療センター (多職種)	がん医療支援センター 電話:06-6929-1221 FAX:06-6929-0886
6月10日(土)	医療法人徳州会 岸和田徳州会病院 (多職種)	診療情報管理室 電話:072-445-9915(内線8440) FAX:072-445-9793
6月11日(日)	大阪国際がんセンター (多職種)	緩和ケアセンター 電話:06-6945-1181 FAX:06-6945-1866
6月17日(土)	市立ひらかた病院 (多職種)	医事課 電話:072-847-2821(内線2108) FAX:072-849-2174
6月17日(土)	大阪赤十字病院 (多職種)	診療情報管理課 電話:06-6774-5111(内線2302) FAX:06-6774-5131
6月24日(土)	北野病院 (多職種)	地域医療サービスセンター 電話:06-6131-2955(直通) FAX:06-6312-8620
6月25日(日)	市立池田病院 (多職種)	事務局総務課 電話:072-751-2881(内線5260) FAX:072-754-6374
7月8日(土)	JCHO大阪病院 (医師のみ)	医事課 電話:06-6441-5451 FAX:06-6445-8900
7月8日(土)	関西医科大学附属病院 (医師のみ)	緩和ケア研修会事務局 (地域医療連携部) 電話:072-804-2981(直通) FAX:072-804-0113
7月9日(日)	東住吉森本病院 (多職種)	医事課 電話:06-6606-0010 FAX:06-6606-0055
7月15日(土)	大阪急性期・総合医療センター (多職種)	医事グループ 電話:06-6692-1201(内線2181) FAX:06-6606-7003
7月16日(日)	社会医療法人景岳会 南大阪病院 (多職種)	法人事務局 電話:06-6685-0221(内線6342) FAX:06-6682-4774
7月22日(土)	大阪警察病院・第二大阪警察病院(共催) (多職種)	総務課 (大阪警察病院) 電話:06-6771-6051(内線2424) FAX:06-6775-2838
7月29日(土)	医療法人徳州会 八尾徳州会総合病院 (多職種)	総務課 電話:072-993-8501 FAX:072-993-7533
8月5日(土)	和泉市立総合医療センター (多職種)	がん相談支援センター 電話:0725-41-1331 FAX:0725-43-3350
8月19日(土)	大阪労災病院 (多職種)	がんセンター 電話:072-252-3561(内線4205) FAX:072-255-3349
8月26日(土)	地方独立行政法人 市立東大阪医療センター (多職種)	総務課 電話:06-6781-5101(内線5110) FAX:06-6781-2194
8月26日(土)	関西電力病院 (多職種)	医事課 電話:06-6458-5821(内線4139) FAX:06-6458-6994
9月2日(土)	社会医療法人愛仁会 高槻病院 (多職種)	外来診療支援科 電話:072-681-3801 FAX:072-682-3834
9月3日(日)	大阪府済生会野江病院 (多職種)	経理課 電話:06-7634-8708(直通) FAX:06-6932-7977
9月9日(土)	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター (多職種)	地域医療連携室 電話:0721-53-5761(内線3101) FAX:0721-50-4416
9月10日(日)	近畿大学病院 (医師のみ)	地域連携課 電話:072-366-0221(内線3892) FAX:072-365-7161
9月16日(土)	市立吹田市民病院 (多職種)	がん相談支援センター 電話:06-6387-3311(内線5230) FAX:06-6387-3315
9月23日(祝)	淀川キリスト教病院 (多職種)	地域医療連携センター 電話:0120-364-489 FAX:0120-846-489
9月30日(土)	星ヶ丘医療センター (多職種)	医事課 電話:072-840-2641 FAX:072-840-2266
10月1日(日)	ベルランド総合病院 (多職種)	企画室 電話:072-234-2001 FAX:072-234-9122
10月8日(日)	大阪府済生会富田林病院 (多職種)	地域医療連携室 電話:0721-29-1121 FAX:0721-29-4448
10月14日(土)	大阪医科薬科大学病院 (医師のみ)	緩和ケアセンター 電話:072-684-6613(直通) FAX:072-684-6612
10月21日(土)	一般財団法人 住友病院 (医師のみ)	医事室 電話:06-6443-1261(内線2450) FAX:06-6447-3049
10月22日(日)	国立病院機構 大阪医療センター (医師のみ)	地域医療連携室 電話:06-6946-3516(直通) FAX:06-6946-3517
10月28日(土)	八尾市立病院 (多職種)	事務局企画運営課 電話:072-922-0881(内線2314) FAX:072-924-4820
10月28日(土)	社会医療法人愛仁会 千船病院 (多職種)	医事科 電話:06-6471-9541 FAX:06-6474-0069
10月29日(日)	高槻赤十字病院 (多職種)	医療社会事業部 地域医療連携課 電話:072-696-0571(代表) FAX:072-696-1228



## 消防訓練を実施して

庶務班長 赤井 太地

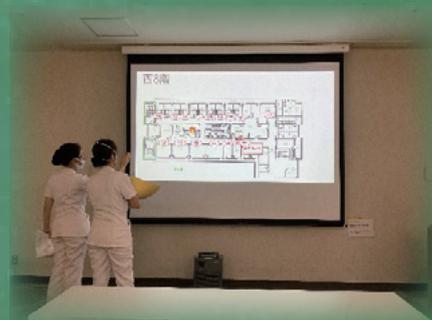
当院では消防法令に基づき年 2 回の消防訓練を実施しています。新型コロナウイルス感染症の影響により長らく病院での実地訓練が出来ていませんでしたが、今年度は 3 年ぶりに病棟で実地訓練を行うことができました。

訓練は人手の少ない夜間の発災を想定し、夜勤・当直職員による消防署への通報、初期消火、避難誘導を行うこととなりました。訓練当日までの準備としては、シナリオ作成、参加者の募集・役割設定、発災病棟の図面作成（防火扉や消火器・屋内消火栓の位置、想定患者の配置図）、ゼッケンの準備などを行いました。図面を用いることは、避難経路や設備の配置、人の動きを共有し易くなるため、このような訓練では必須であると感じました。

### ゼッケン準備



### 図面確認中



訓練当日は、開始 1 時間前に参加者約 50 名と見学者である幹部職員が会議室へ集合し、スケジュールやシナリオの説明をすることで予め参加者の動きを共有しました。その後、各参加者は一旦それぞれの職場へ戻り、火災報知器の発報を合図に訓練が開始されました。皆シナリオに基づいて訓練を進め、予定の時間通りに終了となりました。予め役割とシナリオを説明していたことで、各々が自分のやるべき役割を理解し進めることができていたと思います。一方で、シナリオ通りに進めようと意識するあまり、患者誘導中、火災を見ているだけの時間や入院患者さんに関与できない時間が出来てしまったりと、実際の緊迫した火災現場では起こらないであろう場面も見受けられました。参加者からも同様の意見がでており、これはシナリオどおりに動くように訓練を構成した主催者としての反省点だと感じました。



訓練終了後は参加者と見学者で反省会を行いました。意見としては「手持ちぶさたの時間が出来てしまった」「屋内消火栓の使用までに時間を要していた」「アクションシートやチェックシートの活用を検討してはどうか」などがありま

した。また、今回は自衛消防訓練サポートセンターのご担当者に立合い頂いており、「**火が天井へ到達したら初期消火は終了し速やかに避難誘導へ移る必要がある**」など具体的なアドバイスを頂くこともできました。

### 点呼中



### 反省会中



3年ぶりに実施した今回の実地訓練ですが、個人的には反省点が多かったと認識しています。あくまで、実際に火災が起ってしまった際に速やかに患者さん、職員の安全を守る行動を取れることを目的に、訓練についても工夫をして実施していきたいと思えます。

皆様のクリニックでも既に消防訓練を実施されている施設もあれば、これから計画される施設もあるかと思えます。まずは、**職員皆が自施設にある消防設備の配置場所と使用方法、避難経路を把握すること**から始め、その後実際の火災を想定した訓練を行ってみてはいかがでしょうか。また、消防署に相談すると、都合が合えば立ち会って頂けることもあり、**模擬消火器（水消火器）の貸出しを受けて使用方法を練習すること**もできます。



訓練は有事の際の予行演習であると同時に、現状では不十分な点を把握する機会にもなります。「本番」が無いことが一番ですが、いざという時に職員と患者さんの命を危険から守るためにも訓練の大切さを再認識致しました。

#### 準備に必要なこと

- ①シナリオ作成
- ②参加者の役割設定
- ③発災病棟の図面作成（防火扉や消火器・屋内消火栓の位置、想定患者の配置図）
- ④ゼッケンの準備

#### 実施する上で気をつけること

実際の火災を想定し、シナリオ以外にも職員全員が咄嗟の判断をしなければいけない状況を作り出すこと

# 入院食紹介

当院のイベント時の入院食を

ご紹介させていただきます！！



- ・ミートローフ
- ・クリスマスケーキ
- ・サラダ
- ・かぼちゃのポタージュ
- ・かぼちゃのポタージュ
- ・クリスマスカップケーキ

X'mas



- ・ふくさ焼きあん
  - ・浸し
  - ・年越しそば
- 大晦日**

- ・赤飯
- ・焼き物（鯛・海老）
- ・数の子・黒豆・蒲鉾・レンコン
- ・吸い物

お正月



ひな祭り



- ・巻きずし
- ・さわらの梅ソース
- ・浸し
- ・けんちん汁



大阪医療センター

# がん相談支援センター

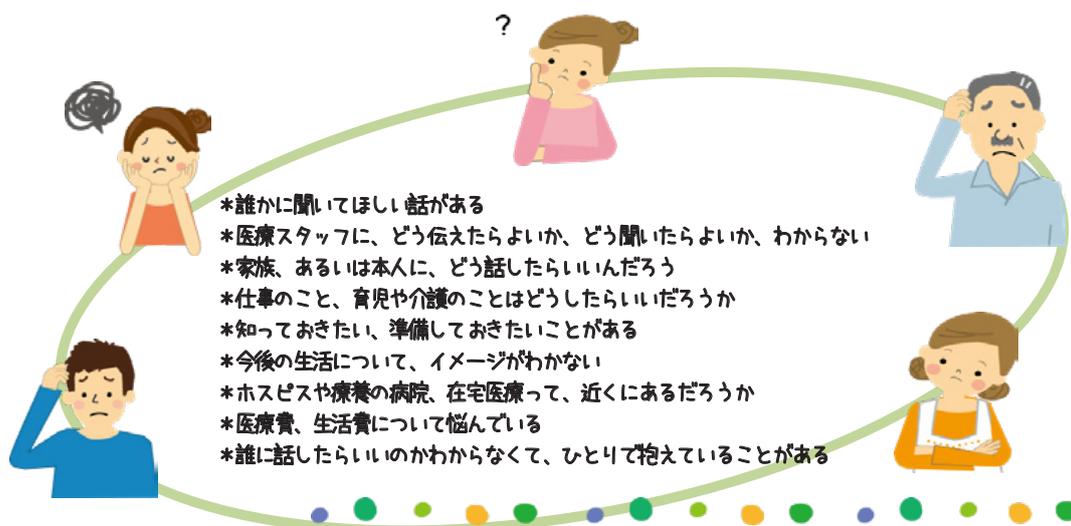
のご案内



患者さん・ご家族が、治療を受けながら考えておられること、生活の中で抱えておられるお気持ち、などお話を聞かせていただくことにより、悩みやお気持ちの整理をお手伝いし、あなたらしい生活が送れる方法を一緒に考えます。  
一度、ご相談に来られませんか？

相談は無料で、相談内容における個人情報厳守いたします。

- \* 匿名でのご相談も可能です。
- \* 相談で知り得た内容を、相談者の同意なく第三者（主治医等を含む）に伝えることはありません。ご安心ください。



ご入院中の方は、ご希望により病室までお伺いします。  
また、当院で治療されている方でなくてもご相談をお受けいたします。

■ 大阪医療センター・がん相談支援センター ■

☎ 06-6942-1331 (代表)

[月曜日～金曜日] 10:00～16:00  
外来休診日はお休みです

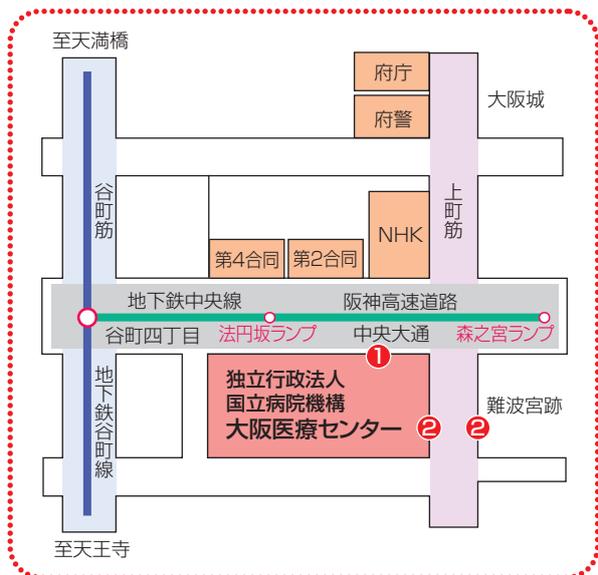
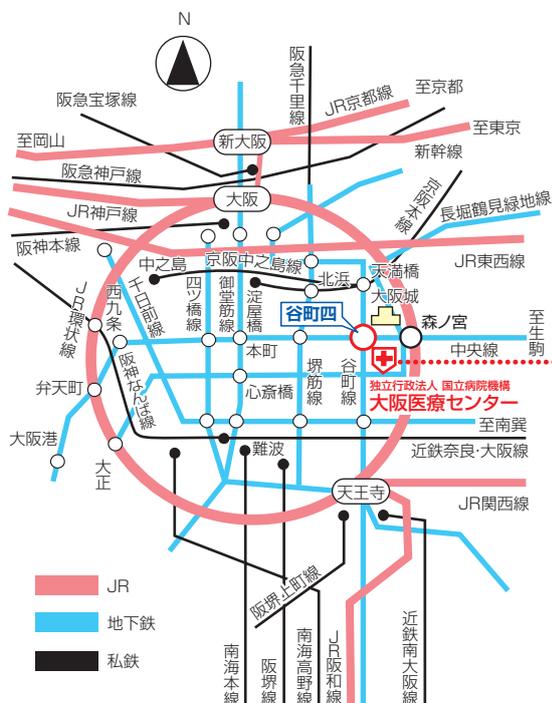
相談対応：看護師・医療ソーシャルワーカー



がん看護相談も  
実施中です



## 交通のご案内



① 地下鉄「谷町4丁目」11番出口 ② 市バス「国立病院大阪医療センター」

### ■地下鉄

谷町線・中央線「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

### ■J R

大阪環状線「森ノ宮」駅下車、地下鉄中央線乗り換え「谷町4丁目」駅下車 ①番出口すぐ

### ■バス

市バス「国立病院大阪医療センター」下車

### ■マイカー・タクシー

・阪神高速 13号 東大阪線

▼環状線経由の場合

「法円坂」出口 上町筋を右折すぐ

▼東大阪方面からの場合

「森之宮」出口 中央大通り直進、上町筋を左折すぐ

・上町筋と中央大通りの交差点の南西角

・お車の出入口は上町筋です。